

海外誌紙に拠る

—カット・マンガ・イラスト集—

不況の上にスト権スト、お互いひどい目に逢わされているよネ。見通しクライし早くこんな年終らないかナ！テ皆考えている。笑いが無いよネ。そこで「リベルテール」は海外資料をひっくり返してマンガ、カット、イラストを集めたんだナ。ところが案外コレいけるんだ。むつかしいことオレ分らないけど、バキンと感じるのがあるんだ。どこかの労組では組合史を劇画にしたとかいうけどマンガはみて面白くなくちゃいけないよネ。それに素描がモノを言うんだ。ドイツの作家ジャンパウルが「美学」の中で言ったよネ。ハ諷刺は当代の精神とは全く別の秩序に立つ精神によって可能だVってサ。それなら当然アナーキストはその資格があると思うんだ。世の中広がって今更、幸徳、大杉、石川でもあるまい！とひとり合点して教えを垂レル人もあるけどサ、このご三家のユーモアに包んだ鋭さに迫れる人少いよネエ、イケネエ、また喋っちゃった。口が軽いと皆に嫌われるよ。

それにみなどうして緊張ばかりしてるんだろう？人間腹が減ると怒りっぽくなるけど、ぼくだって日中は仕事で駆けつり廻ってひがみっぽくイライラするのだ。実を言うとこのマンガ、スト明けに訳をつけてカタルシスになったんだ。読者もその積りで見て欲しいんだナ。貴重な誌面を使ってなんて叱られるとハわたしバカよネVって歌うよ。

(Y)

Freedom (英国)



“自由かさもなければ死を!”



家出

“それできみ達性格の不一致がどうして判ったのかね?”
 “ぼくが自作の詩を朗読している時、
 彼女が聞こえなかったのかで判りましたよ。?”
 (1975年5月4日号)

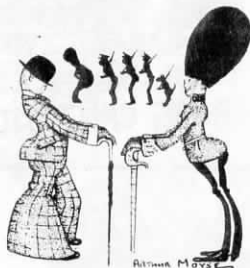
サハラへようこそ



ARTHUR MOYSE

お土産いかが……
 石ころに安いバケツに踏みぐわがあるよ。
 (11月22日号)

“スペインの処刑” (11月8日号)



ARTHUR MOYSE

“申しあげると、わが国を安泰にする手段は一つ、
 各工場に射撃分隊を配置することですなあ。”

POLICE RECRUITS
 UNIFORM AND EQUIPMENT
 ISSUING STORES

警察用品販売店



ARTHUR MOYSE

制服
 警棒
 警察手帖
 “これが君の割当だ、お着いの。”
 この階段は(市民の)非難で転がり落ち用”
 (11月22日号)



つむじ風,

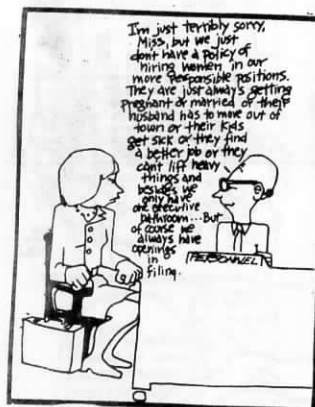
No. 11 (米国)

現代のアマゾン

L. Fish

The Anarchist Black Hammer No. 3

FRECK BROTHERS (米国)



何がボルノか自治体で規めるようにと最高裁が言ってるよ。

それじゃ急いでわが地方の規準をきめよう。

手初めに抗議のプラカードを書いて……

それからにぎやかな交差点ヘデモだ!

人事課

申し訳ありません。お嬢さんわが社では女性を有力な地位につけない方針です。女性には子供がでるとか、結婚するとか、ご主人が町をでて転勤するとか、子供が病気になるたり、いい仕事が見つかると思職しますでしょ。それに重いものは持ち上げられないですね。但しですよ、わが社には管理職用の浴室があります……そこなら別ですが……とにかく、お名前は記貼しておきます。

The MATCH (米国)



警察暴力



こいつはおとなしい。きよくやった! ぐなりましたよ。他のはどこです? いこう、いこう。



Black circle

階級制度をやっつけろ

アナーキストね



I.W.W. Industrial Worker (米国)



銃もユニオンをとめられない。



WAP

(Word Stock Anarchist Party 米国)

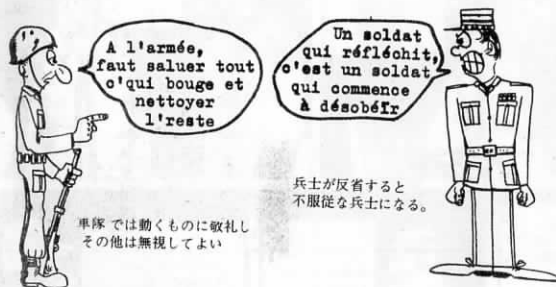


これも人喰い鯨のお話かい?

Front libertaire (フランス)
1975年10月号



チエコスロバキヤの
1945年と1968年



兵士が反省すると
不服従な兵士になる。



警戒しろよ!

管理職は管理できなくなる
と俺達の運動を駄目にするぞ。

俺達の闘争能力は自治組織
を作る力によるんだって

...大衆集会と代表の選出と...
...下からのだよ...

全権力を大衆集会へ!

同等の権利及び即刻解任
できる条件の下での代表の選出



きみ 紙、インキ、原紙が入用なら
フロンリベルテールへどうぞ
フロンリベルテールは高くないよ!

Freie Presse (ドイツ)
—自由と社会主義者の雑誌—



The Industrial
Union



労働がすべての富を創出する
すべての富は労働に還元すべきだ。

Solidarity

Forward to the "Death Agony of all CAPITALISM! No more "transitional Programs," or "crises of Leadership" of the working Class! To ANARCHISM - SELF MANAGE-MENT, and A RADICAL transformation of all Human relations, based on FREEDOM, EQUALITY and A CUP OF TEA(!)!"



"資本主義の死の苦しみ" へ向けて進め、
"過渡期のプログラム" や労働階級の
"指導の危機" はいらぬのだ。
アナキズムへすゝめ、自主管理と
全人間関係を自由と平等と
一杯のお茶(?) にもとづくアナキズムへ!



今日の重役会議
わし等は労働者がみているように、
自分達をみている訳ではない...

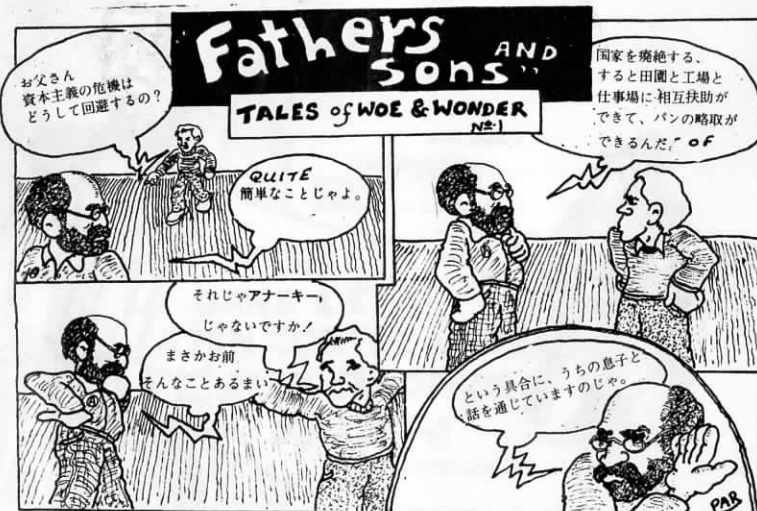


1975年6月23日号

“前衛” この力強き、



Vanguards



SOCIALISME MONDIAL

Vol 1 no 4 1974

労働者 バチスタ
ボスと闘う

**BATISTE
L'OUVRIER**

RENCONTRE

LE BOSS

おいパチスタもっと働けよ
一日50ドル払ってるんだからね

私に
払う金はどこから
取っているんです？

きみの作る製品を
売るのがき。

私が一日に
作る製品は、
どのくらい
ですか。？

価格にし
250ドルか
なあ。

私は一日200ドル
あなたに稼いで
いるのに
もっと働けと
いうのですかい。

へエ へエしかし
機械はわしの
ものだよ

ハア そうですね
けどどうやって
その機械を買い
ましたか。

わしが製品を売って
機械を買ったのだ。

その製品を作ったのは誰です？

よく聞けよバチスタ
わしはもっと指導しやすい
若者を探そう
そしてお前を……

COURRIER DU CUL: ... COÏTO ERGO SUM...



OH! HI!
AHAAAAA!
J'Agis
Connu PLUS TÔT LA
LALALAssociation Max Stirner du Québec
C.P. 95, STN PLACE D'ARMES
MONTREAL, PQ. H2Y 3E2...
....Ouffff!!



情事欄 "われ性愛する故にわれ在り"

la Feuille (カナダ)



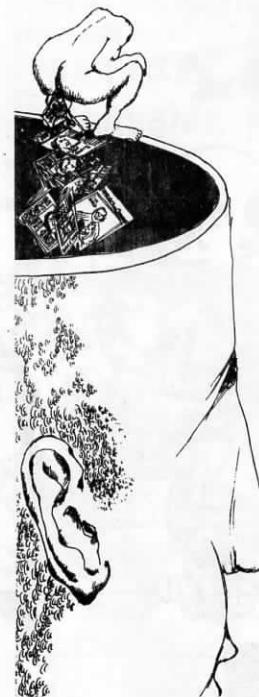
。べては国家の下にあり、
国家に反対するものはなく、
国家の外にあるものはない。
—ムッソリニ—

"TOUT
DANS L'ETAT,
RIEN CONTRE L'ETAT,
RIEN EN-DEHORS
DE L'ETAT"

B. MUSSOLINI

Rivista Anarchia (イタリア)

"マスメディアの悪機能について" のカット



front libertaire

Nous informons notre
aimable clientèle que
momentanément F. L. n'est
plus en vente dans les
kiosques....

ottobre 1975

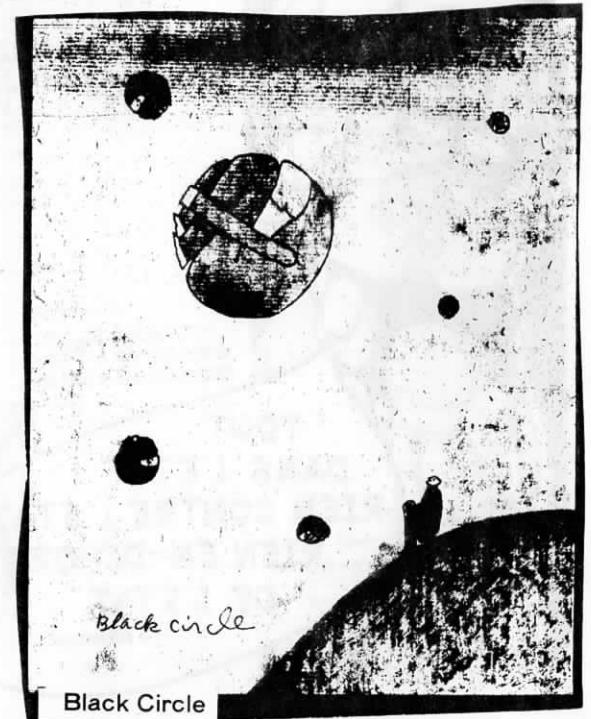
フランコ將軍の終末



親愛な読者に申しあげる
フロリベルテルは只今のところ
街の売店で売っていません。

"The bad old days
will end" 紙 9月号

—悲しき古き日々は去りなん—



望月桂氏を悼む

ハギシン

綿さんにつづいて、望月氏の訃報に接した。

「父桂儀 病氣療養中のところ十二月十三日午後八時十七分永い眠りに入りました。九十才の生涯でした。

ここに生前の御交誼を深謝し謹んで御通知申し上げます。かねてこのことあるを覚悟してか、この一ヶ月の日記の中に次のものを見ます。

落葉踏み静かな訪ずれ秋の夕

ぼんやりと静養せよとつらいこと

老人にこれから難場冬峠

改名の要なし俺は俗物ぞ

引導はいらぬ勝手に独り行く」

何とその十日ほど前、次のような葉書を頂いたばかりなので、おどろいた。夢のようだった。

「風邪にやられて、お礼が遅れて失礼した。『アナキスト小辞典』ありがとう。時を経れば忘れられたり誤まられたりする。あれは必要な事だ。あの仕事は必要だが難かしい事だ。人の選択に苦心したろう。落っこちてる人、或いはドウかと思われるのがある。あれは編集会議でもっと絞ったり練ったら良かったと思う。

俺なんかもアナキズムは信奉するがアナキストたり難い。俺は参考の心算りで思いつきを書いたのだったのにそのまま載せられ実は面喰っている所だ。恐縮している」

私は黒曜会に出品した「高尾平公の手紙」について、望月氏に問合せたのが文通のはじまりであった。本誌新年号の表紙を飾った絵は、氏の肉筆である。また私が「素面」二月号に「くいちがいー幻のアナキスト同盟」を書いた。関東大震災の二日前、根津権現境内の貸席に大杉栄がA同盟結成を召集した。その時と所と人の記憶が、近藤憲二、武良二、古河三樹松、金重漢、逸見吉三と、みなくい違っている。その拙文がのると、望月氏は早速証言の一覧表をそえて、手紙を下さった。

「素面を見た。君の『くいちがい』あれはなる程ひどいもんだね。皆相当にボケたと見える。誰の書いた文、誰語る話だと真に受けたら大変だ。信用できる筈のがあるけれどからね。確たる証拠の上の話、より処ある推察でないと当てにならないね。古い以前の思い出なんて怪しいものが多いよ。忘れたと言うのが本当だ。何でも知ってる様な顔をしたがるのは困り者だ。だから昔話を聞かれるのがこわい。〔下略〕」

老いてますますさかん、運動への情熱を失われなかった。宮下太吉の下宿の近くに住み、試作爆弾の音響を聞いて衝撃を受けた望月氏は、上京してアナキズム運動にとびこまれた。その長い闘争歴と数々の逸話は、古い同志がよく御存知の所である。然し残念な事に私は、ついにこの世で氏とは会えず仕舞であった。